

令和7年度 いなばこども園 保育教育活動に対する園評価（教職員アンケート結果）

回答率=100%

保育・教育目標
重点目標

あかるく なかよく げんきよく
【知】 自分で考えて行動する子どもの育成
 主体性を持った子どもの育成
【徳】 やさしい行動ができる子どもの育成
 仲良く遊ぶ協働性を持った子どもの育成
【体】 健康な体を持った子どもの育成
 意欲的に挑戦する心を持った子どもの育成

A = はい、そう思う（4点） B = 大体当てはまる（3点） C = あまり当てはまらない（2点） D = いいえ、そう思わない（1点）

	問い	A	B	C	D	得点	自己評価 園としての課題や改善策	学校評価委員会 評価委員の意見
		下段はA+Bの数値		下段はC+Dの数値		(昨年度)		
教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	0.944	0.056	0	0	3.9	③と④、⑤は、担任外職員が該当しないと答え、%は低い数値である。しかし、担任ベースで見れば、高い割合で、教育目標や発達段階を意識して指導に当たっていることが伺える。 ⑥は、こ幼保小の連携が重要視され、次年度は藤枝市のモデル地区にも指定されている。研修で取り上げる等、職員の意識を高めていきたい。	○この領域に限らず、園が大切にしたいと考えている項目は、数値目標を設定したい。また、具体的な行動目標を保育者に示し、到達度で評価するという方法もあるように思われる。項目を変えてしまうと、経年変化を読み取ることができないマイナス面もあるが、検討してはどうだろうか。 ○こども園が、小学校の下請けではないことは当然である。小学校と協力をして一層の連携を進めてほしい。
		100.00%		0.00%		3.0		
	②認定こども園の教育・保育領域の理解に努めている	0.111	0.778	0.111	0	3.0		
		88.90%		11.10%		2.8		
	③園の教育目標や教育・保育領域を基に教育課程や指導計画を立てている	0.056	0.5	0.056	0	1.8		
		55.60%		5.60%		2.0		
④乳幼児期の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	0.333	0.222	0	0	2.0			
	55.50%		0.00%		2.4			
⑤子どもの生活や動き、思いを大切に環境構成を工夫している。	0.222	0.444	0.056	0	2.3			
	66.60%		5.60%		2.7			
⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との接続を意識している	0.278	0.444	0.056	0	2.6			
	72.20%		5.60%		2.5			

	問い	A	B	C	D	得点	自己評価 園としての課題や改善策	学校評価委員会 評価委員の意見
		下段はA+Bの数値		下段はC+Dの数値		(昨年度)		
教育 もへの 在り の対 方・ 子 ど	①朝の登園時には特に視診を大切にし、子どもの体調が悪くないか確かめている	0.611	0.167	0	0	2.9	②、③からは、一人ひとりの園児を尊重し、大切にしている保育者の姿勢が感じられます。 ④については、部内での異年齢の活動も多く、十分に交流を図っているように思われる。乳幼児間の交流の少なさは、難しいさもあり、現実的ではない。 ⑤は、園児理解研修などを行い、子ども理解に努めているが、内容や回数などを充実させていきたい。	○この領域の①～⑥を意識して、日々の保育教育活動に取り組んでほしい。
	②一人一人の思いを大切に受け止め個に応じた支援を心掛けている	0.556	0.389	0	0	3.4		
	③遊びこめるような環境や時間を配慮し、子どもの自主性、自発性を大切にしている	0.333	0.444	0	0	2.7		
	④行事や活動を通して、子ども同士の関わりや異年齢交流を大切にしている	0.333	0.333	0.111	0	2.6		
	⑤教職員全員が全園児について理解していくような工夫や努力をしている	0.167	0.444	0.222	0.056	2.5		
		61.10%		27.80%		2.6		
教 職 員 と し て の 能 力 や 良 識 ・ 適 性	①教職員として、話す力や聴く力の向上を意識している	0.167	0.444	0.222	0.056	2.5	①の結果は、確かに「話す・聞く」という点の指導について、甘さが見られる。聴くにしても話すにしても、じっくりと子どもを待つ保育者の姿勢が大切に思われる。 人事異動の無いことが原因か、独特なヒエラルキーが構築され、互いに相手を尊重する姿勢に欠ける。	○全てを全員参加の職員会議で審議することは難しいであろう。根や幹になる部分は管理職で決めていくことが大切である。 ○理解や認識のズレを修正して意思統一を図ることは大切である。月1回程度は全員が集まる場を設定できると良いが、それが難しいということなら、毎日の細かなコミュニケーションを積み重ねていくしかない。
	②子供や保護者との対応は、公平さを欠かさないように平等に接している	0.5	0.444	0	0	3.3		
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育場での安全性に気をつけている	0.611	0.278	0.056	0	3.4		
	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、偏った関係を作らないようにしている	0.222	0.611	0.111		2.9		
	⑤子どものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	0.778	0.167	0	0	3.6		
	⑥園の子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	0.222	0.667	0.111	0	3.1		
保 護 者 へ の 対 応	①子どもの様子や園情報は、直接話すほか、電話や連絡帳を使い保護者に伝えている	0.389	0.389	0	0	2.7	保育者は随分丁寧に保護者とコミュニケーションを取っていることが、頭打ちの微増に表れている。 個人情報の保護や、上司への報連相も意識して取り組んでおり、ありがたく思う。	○保護者対応は、保護者がどんな気持ちでいるのかを考えて対応するようにしてほしい。保護者の主張が正しいばかりではないが、保護者の気持ちを考えれば話し方や言葉の選び方、話すタイミング等が変わると思われる。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語り掛け、話には謙虚に耳を傾けている	0.389	0.611	0	0	3.4		
	③個人情報の管理について園の方針に従い、情報が流出しないようにしている	0.778	0.167	0	0	3.6		
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に報告・連絡・相談している	0.5	0.333	0	0	3.0		

	問い	A	B	C	D	得点	自己評価 園としての課題や改善策	学校評価委員会 評価委員の意見
		下段はA+Bの数値		下段はC+Dの数値		(昨年度)		
地 関 域 の	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	0.111	0.556	0.167	0	2.4	②、③については、地域の素材を生かした保育教育活動ができていないのは、残念である。もっと、地域に根差した保育・教育活動を行うためには職員が地域を知る必要がある。	○小学校では、総合的な学習の時間で地域を教材化して学習に取り組んでいる。成果も上がっているように感じている。こども園でも、是非地域に出掛けて行っていろいろ体験してみてもどうだろうか。
	②子どもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	0	0.5	0.278	0	2.1		
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	0	0.278	0.5	0	1.8		
安 心 安 全	①ヒヤリハットの事例について振り返りを行い、大きな事故に繋がらないようにしている	0.222	0.566	0.056	0.056	2.8	避難訓練は毎月実施しているが、内容等のマンネリ化が数値の低下を招いていると推察する。関係機関の指導を仰ぎ、内容を工夫したい。	○ヒヤリハットの事例を教訓にして、職員一人ひとりの危機管理能力を高めるようにしてほしい。
	②安全点検や検査、訓練等は適正に実施し、安全意識・防災意識を高めている	0.278	0.611	0	0	2.9		
研 究 と 修 養	①職務の専門性を高め知識・技能を身に着けるようにしている	0.222	0.444	0	0	2.2	①、②、④は、職場における組織的研修と個人的研修の両輪が機能して、保育者の能力向上につながると思う。本年度は、園内研修を定期的に実施し、充実した研修だと感じていただけに、いづれの項目もかなり数値を下げていたことは研修担当者と共に内容や方法を再考したい。	○充実した研修が行われていると聞いて素晴らしいと思う。数値が低いのは、職員一人ひとりがより高い目標を設定し努力している表れと捉えたい。 ○園児にとっては日中の父母代わりであることを考えると、様々な趣味や知識を持って、より厚みや深みのある保育士であってほしいと思います。
	②日々の実践を見合い、検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	0.167	0.5	0.111	0	2.4		
	③自分の保育・教育の在り方や悩みについて、同僚や教職員の上司等と話し合っている	0.333	0.444	0.056	0.056	2.8		
	④専門知識・技能のほか、趣味や読書、ボランティア活動などに関心を持っている	0.111	0.333	0.389	0	2.2		
		66.70%	16.70%			2.7		
		50.00%	27.80%			2.5		
		27.80%	50.00%			2.2		
		78.80%	11.20%			2.6		
		88.90%	0.00%			3.5		
		66.60%	0.00%			2.7		
		66.70%	11.10%			2.8		
		77.70%	11.20%			2.7		
		44.40%	38.90%			2.8		

※ 青字は昨年度より0.5点以上伸び。赤字は0.5点以上低下。黄色塗りつぶしは肯定的回答が70%を下回った質問項目。